

今回、Nass の中の人がお休みのため、Nass は風邪をひいたという扱いでシーン登場はありません。後ろをついてきてシーフ的作業を淡々とこなすのみ。

冬支度

Heldren の南の森が唐突に局地的な冬に襲われたインシデント。

謎を解明すべく森に分け入り、ロッジで悪そうなやつを討伐したが、そのロッジはインシデントの中心でもなんでもなく、さらに奥に原因がありそうな感じであった。

というわけで一度 Heldren に戻り、イオニアさんの協力を経て村の家々からなけなしの防寒具を出していただき、出来る限りの冬装備をして再度森へ向かうことになった。

森の中心部への地図はあるが、暖をとれるロッジで一晩休憩したとしても、中心部に向かう過程のどこかで野宿をせねばならない様子…。

一度踏破した道、難なくロッジまでは着く。ここで休憩。

休む間、Sputnika と Diana は協力して、木材から即席のスキーを作るべく奮闘。しかし Sputnika はエイドに失敗。一応できた気はする…。うまくできていれば、Ski は雪上移動の助けになるはず。一人分だけど。

スキー作りの間、Kirsikka、Helvetica、風邪ひき Nass は先に続く橋まで偵察に行く。Helvetica が凍った橋を渡ろうとすると、川から小悪魔めいた影が飛び出す。Ice Mephitis の Izoze。

Izoze は開幕プレスを吹くも 2 点しか出せず。Helvetica は弓を射掛けるも、DR があるっぽい。Crossbow に弾を込めていた Kirsikka に、敵は 3 本束ねのマジックミサイルを撃ちこみ、一気に瀕死。さらに Helvetica に Chill Metal をかける。Diana が 2 回にわたり Arcane Reservoir から Color Spray を吹くも敵は Save で耐える。ラウンドが進み、Helvetica は寒さ本番となった Chill Metal で倒れる。Diana は三度目の正直で Spray を通し、そこに Magic Weapon を得た Helvetica と Kirsikka の矢弾をうけて討伐。

これにより、全員が Lv2 にレベルアップ。

イリセンの影

ロッジで一晩休み、次の日は橋を渡って森の奥にむけて進軍。淡々とエンカウンターをこなす。

突然目の前に 3 つの人影。Frost Skeleton (前回のボスのお付で出てきた奴) が 3 体。

Kirsikka が囲まれるが、盾を構え Dodge を得た Kirsikka には当たらず、新技 Flurry が 2HIT したのもあり普通に討伐。

雪に埋もれたハンターの死体と、動物と戦ったような形跡を見つける。Diana は、これが Giant Weasel の噛み痕・爪痕と見抜く。Snowshoes (かんじき) を見つけたのでありがたく頂戴する。防寒着があっても、この辺から寒さにより Fatigue になる者が出てくる。

歩いて行くと、モミの木が動いて襲ってくる！

不意打ちで殴られた Sputnika と Arl は、Sticky Resin (ヤニ) なるものを塗りつけられ、攻撃や集中にペナルティを被る。殴ったり殴られたりで女性 PT の大半がベトベト地獄。倒せたもののヤ

二は残ったので、たいまつで焼いてパリパリにして落とす。

さらに進むと、動物の血の痕がある。ハンターのジャーナルから罾の存在は察知していたので Nass が解除。

さらに進むと、巨大な氷塊が無数に落ちた広場に出る。奥には、足のような木の幹の上に小屋が立っている。

氷塊エリアに踏み入ると、泣いている女の子の幻影が次々と出てきてしゃべる。

「ごめんなさい、私をいじめないで。そんなつもりで Nazhena 様の名前を呼んだんじゃないの」

「こんなところに居たくない。お母さんに逢いたい」

「(縛られている) そんな汚いお人形なんて嫌！おうちに返して！」

(Sputnika がさわろうとすると) 「(Sputnika を見ながら) 帰らなきゃ。あなたも見つかる前に帰ったほうがいいわ」

(誰に見つかってはいけないのか) 「Nazhena 様に決まってるじゃない」

(Nazhena 様がここに来ているのか) 「えっ？ あなた達のほうが Nazhena 様の場所に来たんじゃない」

次の質問で幻影はふっと消える。

為す術ないので小屋に近づく。

北国出身の者は、その小屋の様子は Irrisen の国旗の意匠そのものであると察知。とはいえプレイヤー知識なので詳しいことはわからず。小屋の中には磁器製の人形が縛り付けられている。

意を決して小屋に侵入し、Arl が人形を取り上げるも、とくに反応はなし。持って帰って調べることにする。

奥の道を行こうとすると、新雪の上に模様が描かれており、中には共通語の文章もある。

「冬に吞まれる前に引き返せ」& 爆発 (Glyph of Warding)。まあそうなりますよね。

夜も近づいてきたが、さきほどの小屋をキャンプ地にすると決めて少しだけ進む。

谷のような地形で風が吹きすさび、視界も悪い。そしていきなり Giant Weasel との戦闘。

Bear Trap のせいか、脚を怪我している。こちら手傷は負うがなんとか倒し、肉を得る。

先の小屋に戻り、そこでキャンプを張る。入り口に戸はないため、Sputnika の提案で、開放された小屋の入り口に雪を積み、北風を防ぐ。とはいえロッジと比べれば格段に寒い……そのうえ不気味だ。

2 直(Kirsikka のみ起床)の時間、Arl の荷物から先ほどの磁器人形がゴソゴソと這い出てくる。そして懷からダガーを取り出し……。

気づいた Kirsikka が組み付こうとするも失敗し、人形は Frost Fall という呪文を唱え、部屋を霜まみれにする。続くターンで組み付きに成功し、ダガーで刺されると麻痺しそうになるが耐える。さらに Pin して行動を封じようとする (Ear-Piercing Scream (以下 EPS) は V 呪文なので普通に使えたが、朦朧は避けた)。続くターンで縛り上げを行なったので、戦闘を若干継続しながらもお人

形さんと会話を試みる。

(お前は誰だ)「私は Irrisen を守る Guardian Doll だ」

(おいおいここは Taldor だぞ)「ふん、いずれ Irrisen の支配下になるんだ！」

呪いの人形ということもあり、和解や解呪は難しそうなので、最終的には Arl が元の鞆に詰め込んで振り回し、人形は粉々になる。

大きめのサファイアと、Irriseni Mirror Sight という呪文の Focus となっているらしい鏡が見つかる。鏡は割っておく。しかし我々の面は Irrisen の連中に知られてしまったと考えられる。

恐怖の恐怖呪文

寒さで疲労が取れないながらも翌朝さらに進軍し、とうとう森の中心部とおぼしき箇所に到着。イグルーがいくつか、雪の上の足あとは大きくてサベージ。そして奥には、無数の逆さ氷柱に囲まれた冷気の渦……つまりポータルが見える。

例の EPS 妖精が巡回しており、普通に見つかって戦闘開始。早々にこちらが Obscuring Mist をかけたので、妖精はボスを呼ぶ。

出てきたボスは植物に絡まれた Frost-moss Troll の Teb 君。その身体ゆえ普通の Troll 以上に火に弱く、火を見るだけでブルってしまうらしい。そのため、妖精は服を燃やしながら火を放つという噂の Arl に集中して EPS を放ち、ロックをかける。

さらに妖精の親玉めいた奴 (Hommelstaub) が Cause Fear を決め、Kirsikka と Helvetica は Frighten になってしまう。Sputnika は Sun Metal で Kirsikka の手を燃え上がらせるが、そのせいで Sputnika も火を使うものとして狙われてしまう。

Hommelstaub は Oracle とかいうクソ生物なので Cause Fear を何発も撃ち、前衛を完全にロックし、相当な距離まで逃げてしまった Helvetica にさえ追加の Fear をくれてやるほどの執拗さ。

そのまま Teb 君の怪力や妖精の EPS に押されながらジリ貧となり、2 回めの Mist で遠隔攻撃を防ぎながら戦線を再構築しようとするが、その中で Arl の持っていたスクロールからの Sleep が決まり、昏睡した Troll に Kirsikka が素手の Coup de Grace を決める。Troll といえどこのセーブを落とせば死ぬ。霧の中からボスの断末魔が響き、ハッハー状態から一気に劣勢に立たされた妖精はポータルに消えてしまった。

たっぷりボス部屋のお宝を漁ったあと、ポータルを見る。10ft 半径の冷気の筒が吹き出ている。調べていると、黒い馬に乗り、バイキングめいた兜を被った男がポータルの中から現れる。その背中には氷の刃が無数に刺さっており、倒れて馬から落ちると馬は消える。

「お前たちは誰だ……エルヴァナの手先ではないのか」

(Sputnika が Cure するが、効かない)「これは呪いによる攻撃だから癒せない。私はもう長くないだろう」

「私はバーバ・ヤガに仕える Midnight Knight のひとり。しかしバーバ・ヤガはエルヴァナの手に落ち、世界を冬に閉ざそうとしている。私は反抗したが敗走した」

(エルヴァナとは)「今の Irrisen の女王である。交代を拒み、バーバ・ヤガに反旗を翻した」

(ポータルを止める方法は)「エルヴァナが世界各地に出している。ポータルの向こうに Pale Tower があって制御している。その制御を奪えば、対応するポータルを止めることができる。冬の進行を止めたくば、バーバ・ヤガを助けてエルヴァナをやっつけてくれ」
(他の騎士は)「もう殺されてる」

(バーバ・ヤガを助ける具体的な方策は)「バーバ・ヤガ様は普段 Dancing Hut といわれるパワフルなアーティファクトに住んでいる。『鍵』さえあればいろんな場所に行けるため、それを探すことでバーバ・ヤガに接触できるだろう。Hut はいまはエルヴァナの手に落ちて、Irrisen の White Throne にある。」
「私は鍵を2つもっているが、Hut の使用を阻害するために用い、それによって鍵は Deactivated されてしまった。私はもう死ぬので、命運は君たちに託そう。いいね？」

鍵といってもキーアイテムみたいなもの。1 つは Frost Giant's Beard、1 つは Plague Doctor's Mask。

「命を賭して鍵を再び有効化する。君たちはまずポータルをくぐって Irrisen に行き、Tower を攻略してポータルを無効化。そして Hut を探し出して手にする。しかるのちに鍵を用いてさまざまな地に赴き、バーバ・ヤガを探し出し、助けてくれ」
「もう一つ、この外套をやろう(外套はキラキラになって消えた)。バーバ・ヤガの祝福を与えた。バーバ・ヤガの張った防御呪文を、君たちは通り抜けられるようになる。あとついでに Highest でない能力値が永久に2上がる(Wish 相当)」
「ただし忘れるな、これは魔女の祝福である。君たちはたとえ死のうともバーバ・ヤガを助けねばならない」

男は自分の首を切り、血を鍵に浴びせると鍵が有効化され、男は灰になって消えた。

ボス部屋で一晩休み、街で装備を整え直すべく、翌日は強行軍でロッジにまで向かおうとする。しかし、ロッジで一晩を明かすとなぜかめっちゃくちゃ体調が悪い(全アビリティ -6)。ポータルに戻ると回復した。これがバーバ・ヤガの祝福(呪い)のようである。

イリセン突入

意を決してポータルをくぐる。そこは雪国であった……Irrisen なのだろうか？ これまでにもまして寒く、華氏で0度を下回るレベル。
遠くに街の光が見えるので、凍えながらもそこを目指す。やべーと思ったその時、犬ぞりを率いたキャラバンが視界に入る。
「ちょっと街まで連れてって欲しいんですが」という間に「助けて！」と返答。巨大カマキリに襲われている！
多めのフルアタックを耐えつつなんとか倒す。

キャラバンの隊長は Nadya Petska。

「助けてくれてありがとうございます。ところですごく寒そうなカッコですね？」
(ここはどこ)「ここは Irrisen の Waldsby という街の近くです」

食糧を仕入れるキャラバンだったようだ。防寒着を貸してもらい、街まで連れて行ってもらう。

「私は Pale Tower への貢物を仕入れに出ていたのです」

(Pale Tower とは?) 「ココらへんを納めているエルヴァナ様の孫娘の一人 Nazhena の住まい。監視が厳しいので、悪口とか言わないほうがいいですよ」

Waldsby までは半日の行程。進むと、目の前に青い皮膚の女性(サテュロス?) が現れる。直前に隠れると Nadya に言われ PT は物陰に隠れるが、Helvetica は隠れず。

青肌「そこの犬ぞり、止まれ！」

青肌「黒い鎧の騎士を見なかったか？ あとガイジンさんも探してる」

Helvetica は「傭兵に雇われた」と言い訳。敵は納得したふうを装うが、どうも違う様子。とりあえずやり過ごすが、Helvetica の顔は割れたかも。

Nadya 「この辺はああいう Winter Witch 配下の Fey がよく居るので、目立たないほうがいいです」

Nadya 「ところで黒い騎士って何の話ですか？」

Helvetica 「知りませんねえ (Bluff は低いけど Nadya の看破も低い)」

もう少しで村だ！というところで、空に黒い塊が浮いている。鳥の群れだ。

Raven の群れなので、わずらわしと同時に目を引っ掻いてくる。これにより Kirsikka と Diana が早々に Blind に。敵は狡猾に飛び回りながら次々と Blind にしていくが、動物嫌いマンの Nadya や動ける Helvetica がチマチマとダメージを入れていく。なんとか殴り勝つが、大多数が日単位の盲目状態を負ってしまう。

ようやく Waldsby の村に到着。なんか街の作りが Heldren と酷似しているが、雪に覆われている。もしかすると、Pale Tower による侵略は地形の類似がキーなのかもしれない。

護衛の恩ということで、Nadya の家に泊めてもらう。Nadya は子持ち(男子の双子 2 人、Orm と Mjoli) だった。あと世話人の Kashka。

子供「ねえ、お姉ちゃんは？」

Nadya 「もうちょっと待ってね」

一同、察する。

夫は狩りで亡くなっており、Kirsikka は遺品の +1 Chainshirt をいただく(誕生日プレゼント)。一晩休み、Long-term Care により半数の盲目は癒えるが、前衛の Kirsikka と Helvetica は治らず。

Nazhena の手は早く……

翌日、目の見える者は外に出て物資の売り買い。

すると、Emil という名の笑顔のオッサンが声をかけてくる。

Emil 「君たち余所者かい？」

Arl「旅人です」(Bluff21)

Emil「そっかーなるほどー大変だったなー。俺、酒場やってるからウチで一杯やってかない？宿屋もウチだけだよ」

Arl は PT の意向を聞いてから行くよ、とはぐらかす。敵方の密偵だとすると、Nadya の家に泊まっていることを知られると厄介。尾行に気をつけつつ帰る。

一方、Nadya の家ではいつの間にかバッグの中の鍵がなくなっている。

Nadya「こら、ハッチ！だめでしょ！」

物陰から Domovoi(Fey) のハッチ君が出てきて、鍵を返してくれる。
ハッチ君はどうやら Pale Tower に居たが追い出され、Nadya の家に居候しているようだ。

さて、夜になると、村の外が騒々しい。

Nadya「ここも家探しされるかも。あなたたち、他のところに隠れたほうがいいんじゃない？」

今後話す機会がないと思い、去り際に Diana は Nadya の娘のことを聞く、するとハッチ君が泣き出す。

ハッチ「わしのせいで……」

Nadya「娘の Thora は Nazhena 様の悪口を言ってしまい連れて行かれた。Tower に貢物を持って行って、助けてもらおうとしていた。White Witch に狙われている可能性もあるから、この家は危険かもしれない」

娘の容姿を聞き出すと、かつて氷塊の幻影で見た少女と酷似していたため、事情を話す。我々は Taldor のポータルからココに来た。ポータル付近に Irrisen の hut があって、Guardian Doll がいた。Diana は Nadya が錯乱したときのために Memory Lapse を準備するが、彼女は落ち着いている。

Nadya「それが本当なら、Pale Tower に真偽を問い質しに行かなければならない」

(Pale Tower には我々も目的がある) Nadya「では私も手伝います」

ハッチ「Pale Tower はテレポーターでしか昇り降りできない。コマンドワードは私がいくつか知っているぞ(教わる)」

その間にも、外では家探しが行われている。

Nadya「私が捕まれば彼らは帰っていくでしょう。その上であなた方に助けてもらい、娘の仇を討つという手はいかがか」

しかし PT の多数はこの提案に反対、戦うことを選択。
街に無用な騒ぎと不信感を残したくないため、街を離れる。

充分街から離れた林の中で、追手を迎え撃つ体勢。

しかし敵は武装した兵士が 10 人以上、こちらの前衛 2 人(Kirsikka、Helvetica)は盲目のままという猛烈に不利な状況。ただ、向こうの人間どもも雪の地形に慣れていないようだ。

Diana は開幕 Dimensional Slide で勇敢に突っ込みつつ Color Spray、2 人を無力化。さらにボスに EPS を放つも抵抗される。

茂みに陣取ったため敵の弓も当たらないが、ボス格はさすがにボス格、近接攻撃により Diana は倒れる。Color Spray に味方をやられた敵は Diana に追い打ちを掛け、ボスに怒られる。「生かして捕らえろって言うたやろが！！」

二刀流レンジャーの Nadya はボスに肉薄するも、続くボスの攻撃でクリティカルし、一撃で倒れる。

復活した Diana の Color Spray でボスも昏倒し、そこに盲目の Kirsikka が Blind-Fight で殴りかかる。しかし Stun5 ラウンド中の殴りも組み付きもすべて盲目によるミスチャンスで外してしまう。味方も徐々に倒れて敵に捕縛されていく中、ようやく起き上がった Nadya が斧によるクリティカルを決め、ボスに手傷を与え、最終的にトドメを刺す。烏合の衆となった兵士たちは逃げ去ってしまった。

ボスは、Mental Alert を特定人物に送れる鏡を所持していた。つまり、誰かに「ヤバイ」という警告は飛んでいると考えられる。

とりあえず追手は駆逐するも、依然ここは敵地で、我々の行動も敵に捕捉されている。Pale Tower 攻略はなるか...？